

教育委員会会議録要旨（令和5年第16回）

定例会	日 時	令和5年8月8日（火） 午後1時15分
	場 所	明石市役所分庁舎 4階教育委員会室
出席者	委 員	北 條 英 幸 教 育 長 橋 幸 男 委 員 柏 木 輝 恵 委 員 川 本 まり子 委 員 橋 本 彰 則 委 員
	事 務 局	長田局長 田辺室長 北迫次長（指導担当） 新田次長（給食担当） 中田次長（明石商業高校福祉科準備担当）兼明石商業高校 福祉科準備担当課長 西山総務担当課長 小島学校教育課長 三ノ浦総務担当企画総務担当係長

次 第

○報告事項

議案第 25 号 令和 6 年度使用の明石市立義務教育学校の教科用図書採択について

開催

(北條教育長)

それでは、ただいまから、令和 5 年第 16 回定例会を開会します。

本日の署名委員は、橋本委員をお願いします。

それでは、本日の審議を始めます。

本日は、傍聴者が 8 名おりますので、入室させます。

本日も昨日に引き続き、議案第 25 号「令和 6 年度使用の明石市立義務教育学校の教科用図書採択について」の審議を行います。

本日は、「社会」の審議からです。

それでは、筒井会長、説明をお願いします。

(筒井会長)

では、社会の報告をいたします。

選定委員会の中では、今日的な課題についての記述や、写真や図表などの資料の見やすさや使いやすさ、問題解決的な学習ができる教材の工夫が見られるかを中心に、全ての観点について協議をしました。

特に、すぐれている点では、観点(5)において、教育出版 6 年「社会」174 ページをご覧ください。写真資料の白黒写真をカラーにし、当時の人々の様子を分かりやすくする工夫があります。

また、内容を整理する段階でシンキングツールを提示していることが多く、問題解決を行うための思考の手立てがあります。さらに、「学びのてびき」が記載してあり、学習課題が立てやすくなっています。日本文教出版も、SDGs に関連する内容が各単元末にあり、未来志向的な考えが持てるように工夫してあります。

単元を通じて、「問題を発見する、追及・解決する、問題をほりさげ、よりよい未来をつくる」という3次構成で学習を進められるように設定され、未来志向での追及を行える工夫がありました。

以上です。

(北條教育長)

それでは、社会について、ご質問がありましたらお願いします。

まず、私からですが、それぞれの教科書で明石についての記載を探してみたのですが、日本文教出版は明石については記載されていないということよろしいでしょうか。

(社会調査員代表)

そうですね。ただ、明石市の情報については、副読本として「わたしたちのまち明石」を配布し、学習しています。

(橘委員)

その話に関連いたしますが、日本文教出版の教科書には、姫路市については、非常に詳しく記載されていますが、明石市については記載されていません。これでは子ども達が郷土について学ぶことはむずかしいのではないのでしょうか。これは明石市でのみ使用する教科書ですか、それとも全国で使用するもののでしょうか。

(筒井会長)

これは、全国で使用する教科書ですので、たまたま近隣の姫路市が載っているということですので、それとの比較で明石の記載がないことが目立って見えるということもあると思います。

学習に当たっては、副読本の「わたしたちのまち明石」を活用し、教科書の姫路の記載と比較することで明石のことを学ぶことは十分にできると思います。

(川本委員)

自然災害については、どの教科書にも記載があるのですが、索引を見ると、「自然災害」が入っていたりいなかったりするのなぜでしょうか。

(筒井会長)

索引にはありませんが、掲載はあります。

- (川本委員) 登場人物が限られているように感じます。特に、外国にルーツを持つ子どもなどです。多様性という部分ではどうでしょうか。
- (筒井会長) 教育出版社をご覧ください。教科書に登場するキャラクターの中に車いすに乗っている子どもが掲載されています。
- (川本委員) 単元で見たところで、キャラクターが少なかったという意味でお尋ねしました。
- (柏木委員) 教育出版の教科書で明石に関する記載はないのでしょうか。
- (筒井会長) 教育出版の5年生の121ページにイカナゴのくぎ煮についての記載があります。
- (柏木委員) SDGsについては各教科書でどのように扱われているのでしょうか。
- (社会調査員代表) 先日、私が別の学校へ訪問した際、SDGsのバッジをつけて訪問していました。その学校の児童は、私のバッジを見て、SDGsのものであるとわかって話しかけてきました。
- 教科書に掲載されることにより、児童のSDGsに対する認知度もあがり、関連付けて学習していくことができると考えます。
- (北條教育長) 他にご質問はありませんか。ないようですので、採択に移ります。「社会」は、3者ですので、委員のみなさんには、1者を推薦いたします。
- 集計の結果、教育出版4票、東京書籍1票となりましたので、「社会」は、「教育出版」を推薦多数により決定します。
- では、次に「地図」の審議を行います。
- 筒井会長、説明をお願いします。
- (筒井会長) では、地図の報告をいたします。

選定委員会では、発行者が2者ですので、観点ごとの特徴に加えて、2者を比較した時に、どのような違いがあるか、ということを中心に協議をしました。

東京書籍は、「ホップ ステップ マップでジャンプ」のコーナーで楽しく学べるようになっています。

帝国書院は、土地利用の色使いが鮮明で、山地の起伏を表す陰影を用いており、地形と人々の暮らしが読み取りやすいものとなっています。

最後に、観点(3)についての2者の例を挙げさせていただきます。2者とも地図の見方や使い方が説明されていますが、帝国書院の方が、多くのページをさき、より分かりやすくなっています。帝国書院 91 ページをご覧ください。

人の認知は全体を知って部分を理解するという特徴があります。帝国書院は、アフリカ大陸が地球上のどの位置にあるのかを示した上で、アフリカ大陸の詳細について記載しています。また、地図で地球外の部分を表現することで地球上の位置関係やスケールを児童が捉えやすくしています。

さらに、帝国書院の 22 ページ、九州地方の地図と 35, 36 ページに同じく九州地方の地図がありますが、比較してご覧ください。

22 ページの方は九州地方の概略を示しており、35, 36 ページの方は九州地方の詳細な地名が記載されています。これは、中学年の児童には、22 ページの概略の方を、高学年の児童には 35, 36 ページの詳細の方をという認知面の発達に配慮したものと考えます。

また、地図で地球外の部分を表現することで地球上の位置関係やスケールを児童が捉えやすくしています。

以上です。

(北條教育長)

それでは、地図について、ご質問がありましたらお願いします。

(橋委員)

帝国書院の49ページには兵庫県の地図がありますが、兵庫県のさらに詳細な地図や明石市の地図は掲載されていないのでしょうか。

(筒井会長)

兵庫県や明石の地図については、副読本の「わたしたちのまち明石」の配布と同時に、個別に配付しています。

(川本委員)

東京書籍の教科書に、地図上に言語による区分が記載されているのはどうしてでしょうか。

(筒井会長)

これは、私の個人的な見解でもあるのですが、私たちは、日本に住んでいますと、国境というのは、四方が海に囲まれていて、比較的わかりやすいのですが、海外に行きますと、それは、明確ではないことも多く、例えばドイツ語は、ヨーロッパではロシア語の次に使用人口が多い言語です。

そのため、同じ言語を使用しているというのが、国のひとつの定義になりえるということから、言語による区分が記載されているのではないかと考えます。

(北條教育長)

他にご質問はありませんか。ないようですので、採択に移ります。

「地図」は、2者ですので、委員のみなさんには、1者を推薦いただきます。

集計の結果、帝国書院5票となりましたので、「地図」は、「帝国書院」を推薦多数により決定します。

(筒井会長)

では、次に「図画工作」の審議を行います。

筒井会長、説明をお願いします。

図画工作の報告をいたします。

今後、「明石の児童により一層育てていきたい能力について」を念頭に、教科書に掲載されている児童たちの心を動かす作品やお互いの作品の良さについて話し合ったりする学習活動について協議をしました。

両者とも5.6年の下をご準備いただき、日本文教出版の58ページからの「かく」を、開隆堂は58ページからの「学びの資料」をそれぞれご覧ください。

日本文教出版は、制作する道具の使い方をはじめ、作品の工程等について記載されており、児童個々の技能の向上が期待されます。

開隆堂は、この「学びの資料」の記載量をはじめ、各ページにもコンパクトに記載しています。

日本文教出版は、単に道具を通して制作している内容になっているのに対し、開隆堂は様々な道具の使い方等、変化する状況や課題に応じて表現できるよう工夫を全体的に凝らしています。

開隆堂の方が、道具の扱い方や形の表現のしかた等をシンプルな説明にとどめ、児童の興味関心がより強く湧いたり、自分のイメージをより深く持てるように、参考になる動作や例になる作品の掲載に重きをおき、思考力・判断力・表現力等や学びに向かう力の育ちを意識した内容であると評価しました。以上です。

(北條教育長)

それでは、図画工作について、ご質問がありましたらお願いします。

- (川本委員) QRコードの使い方の特徴的なところはありますか。
- (筒井会長) それぞれに素晴らしい機能が充実していますが、日本文教出版は、作品を360度見ることができる違いがあります。
- (柏木委員) 発想の自由度についてはいかがでしょうか。
- (筒井会長) それは、子どもが創作する際に自由に発想して作成できるという意味でよろしいでしょうか。
- (柏木委員) はい。
- (筒井会長) 開隆堂の5,6年生の36,37ページをお開き下さい。ここでは、墨を使った題材を取り上げています。36ページ左下のQRコードを読み取ると、振り返りシートや鑑賞シートがあるので、児童自身が取組む際や振り返る際に活用できると考えております。
- 発想の自由度という点では、開隆堂の方が、シートを使いながら自分の考えをまとめやすくなっており、より自由な発想ができると考えております。
- (北條教育長) 他にご質問はありませんか。ないようですので、採択に移ります。
- 「図画工作」は、2者ですので、委員のみなさんには、1者を推薦いただきます。
- 集計の結果、開隆堂3票、日本文教出版2票となりましたので、「図画工作」は、「開隆堂」を推薦多数により決定します。
- では、次に「家庭」の審議を行います。
- 筒井会長、説明をお願いします。
- (筒井会長) 家庭の報告をいたします。

家庭の教科書では、掲載されている写真や話題が、児童たちの理解と動機づけにおいて重要な要素であり、この点について両者を比較して調査いたしました。

また、学校現場では、学級担任が「家庭科」を担っていること、掲載例の「動画」と「写真」について協議をしました。

掲載されている写真では、見開き2ページ構成での実習内容が掲載されている開隆堂が便利である意見がありました。東京書籍では、動画が豊富であり、実習の際は不向きではないかとの意見も出ました。

内容については、両者、目次をご覧ください。東京書籍が単元量のバランスが適量であることが優れています。また、家庭科専科以外の教員や新任の教員が家庭科を指導しやすい工夫があることも評価しました。以上です。

(北條教育長)

それでは、家庭について、ご質問がありましたらお願いします。

(川本委員)

教科書を並べてみると、見開きとなっている開隆堂の方が見やすいように思いますが、文字の大きさなどについて何か議論はありましたか。

(筒井会長)

特にどちらの発行者も配慮されたフォントや配列がされています。

(川本委員)

東京書籍と開隆堂で同じようなページ数なのに、東京書籍の方が軽いように思いました。紙の質の問題かもしれませんね。

(柏木委員)

なぜ「家庭」を学ぶのかということについて、違いはありますでしょうか。

(筒井会長)

教科書については、いずれも教科書検定を通っているものばかりですので、本質的なところは変わらないと思います。

(柏木委員) 東京書籍は1ページに「あなたの生活をよりよく変えていく教科です」と記載してあり、見開きとなっており、見やすさやメッセージ性で東京書籍の方がよいのかなと思いました。

(川本委員) 選定とは少し関係がないかもしれませんが、団らんについて教科書で計画して実行すると記載してありますが、教科書をどのように使用して授業が行われているのでしょうか、参考までにお聞かせください。

(家庭調査員代表) 団らんについては、家庭事情などで配慮すべき児童もいますので、今現在、どのような団らんの様子かどうかを聞いていくのではなく、将来に向けて、自分はどのような団らんの形を望んでいるかを考えさせるなどのように授業を展開しております。

(橘委員) 教科書の教材の配列の違いは教育課程に影響はないのでしょうか。

(筒井会長) 教材の配列、単元についてですが、東京書籍はコンパクトに、開隆堂は細かくて多いという特徴がありますが、子どもが学習していくうえでは問題、影響はありません。

(北條教育長) 他にご質問はありませんか。ないようですので、採択に移ります。

「家庭」は、2者ですので、委員のみなさんには、1者を推薦いただきます。

集計の結果、東京書籍3票、開隆堂2票となりましたので、「家庭」は、「東京書籍」を推薦多数により決定します。

では、次に「保健」の審議を行います。

筒井会長、説明をお願いします。

(筒井会長) 保健の報告をいたします。

教科書で学んだことを知識にとどまるだけで終わらせず、自分自身の生活を振り返るとともに、これからの生活に結びつけていくことが大切と考え、自分の成長や健康に関心を向けさせるための効果的な手だてについて協議をしました。

観点(1)について、東京書籍は、自分の生活と関連させて思考する場面や、喫煙・飲酒の誘いに対する断り方を示した動画が用意されています。

また、観点(2)においても、東京書籍は、どの單元においても、QRコードが多く、豊富な実習動画や実験映像にアクセスすることができること、他教科との関連に関わる記載が各單元のはじめにあること、他教科との関連が示されている等、豊富な情報量があります。

また、表紙のイラストに、車いすの子ども、妊婦、高齢者が自然に描かれているなど、人権に対する配慮もたくさんあります。

以上です。

(北條教育長)

それでは、保健について、ご質問がありましたらお願いします。

(橘委員)

多様な性について、それぞれの教科書でどのように扱っていますか。また、どの学年で取り扱うことが妥当と考えていますか。3.4年生からなのか5.6年生からなのか。

(筒井会長)

多様な性の扱いについては、東京書籍では3.4年38ページ、大日本図書では3.4年39ページ、光文書院3.4年33ページ、学研3.4年45ページに記述があり、どの教科書も3.4年生からの取り扱いになっております。

(保健調査員代表)

4年生でLGBTQについて学習するので、3.4年生で学ぶ方が望ましいと考えます。

(川本委員)

子ども達の保健について、学校の中の様々な職種との関わりについては、それぞれの教科書でどのように扱われていますか。

(保健調査員代表)

例えば、東京書籍の5.6年生の73ページをご覧ください。ここには、養護教諭やスクールカウンセラーなどの関わりについて記載があります。児童の健全な心身の発達において、学校内で様々な職種の方が関わっていることについて、理解することができるようになっています。

(橋本委員)

東京書籍の教科書については、喫煙の依存性について書かれてあるのが評価できると感じました。喫煙をきっかけとして、それに依存し、違法な薬物への依存などにもつながっていくということを子ども達にもっと伝えてほしいと思います。

また、喫煙者の肺が真っ黒になっている写真は使われているのですが、どの教科書にも使われていないもっとわかりやすい写真、それは、一卵性の双生児で、一方が喫煙者で、一方が非喫煙者のケースで、数年後に前者は老人のように老けているのに対し、後者は若いままという非常にわかりやすいものですので、その写真を使ってもらったらもっといいのじゃないかなと思いました。

(北條教育長)

他にご質問はありませんか。

ないようですので、採択に移ります。

「保健」は、6者ですので、委員のみなさんには、2者を推薦いただきます。

集計の結果、東京書籍5票、大日本図書4票、文教社1票となりましたので、「保健」は、「東京書籍」を推薦多数により決定します。

では、最後に「道徳」の審議を行います。

(筒井会長)

筒井会長、説明をお願いします。

それでは、道徳の報告をいたします。

道徳の教科化のきっかけの一つとなった「いじめ問題」については、全者とも児童にとっての喫緊の課題として取り上げられています。

教育出版は、話が途中で終わり、そこから児童が考える構成となっています。他者にもそのような構成はありますが、特に、

「問い続けるチカラ」、「考える続けるチカラ」を育てる構成が強い傾向にあります。「道徳」は、もともと教科ではなく、知識・理解をもとめるものではありません。

人間性に関わることであり、児童の心情について迫る特別な教科であります。現場の教員が使いやすく、児童が深く考えることができる教科書であるという結論に至りました。

(北條教育長)

それでは、道徳について、ご質問がありましたらお願いします。

(川本委員)

東京書籍にはさかなクンの話が載ってますね。

(筒井会長)

はい。先日も二見小学校に来て話をされていましたが、明石の子ども達には、非常になじみやすい存在だと思います。

(柏木委員)

説明が特定の1者の評価だけだったのですが、他の教科書の特徴について、特に主体的な学びのための何か特徴があれば教えてください。

(筒井会長)

報告書にもありますように、例えば、光文書院では「なぜだろう、どうしてだろう」と思う気持ちを大切に教科書や生活の中から問いを見つけ、学習の意欲を高める設定がされています。

(橘委員)

道徳の教材として、教科書出版会社が作成した独自の文書だけでは、その出版社の恣意的な偏りが生じないとも言えないので、

既に存在している何か有意義な題材を持ってきて、それについて子ども達に考えさせるということがあってもいいんじゃないかと思いますが、それぞれの教科書ではどのような文章が題材として採用されていますか。

また、教える側からして、その題材の扱いやすさなどはどうでしょうか。

(筒井会長)

道徳科の指導内容として、主として自分自身に関する事、主として人との関わりに関する事、主として集団や社会との関わりに関する事、主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事の4つの項目があり、どの出版社も項目ごとにバランスよく教材を掲載しています。

(道徳調査員代表)

具体的には、各社とも読み物教材を中心に、写真や漫画、動画を活用した教材等、多様な形式の教材が掲載されています。

特に、教育出版社では、6年84ページに見られるような生活体験と重なる教材を多く掲載したり、2年42ページのように教材文の結末を敢えて書かなかったりして、児童が深く自分事として考えられるように工夫されていました。

「考え、議論する道徳」にするためにも、身近な場面を取り扱った教材、登場人物の葛藤場面があり多様な考えが期待できる教材が望ましいと考えます。

(筒井会長)

児童が直接的に活用する機会は少ないと思われるが、指導する側は、指導計画をたてる際に、学習する内容項目に偏りが無いか一覧表で確認することができます。

現代的課題として、いじめ問題やSDGSの取組、情報モラルをテーマとして取り扱っている例が各出版社に見られます。

(北條教育長)

他にご質問はありませんか。ないようですので、採択に移ります。

「道徳」は、6者ですので、委員のみなさんには、2者を推薦いただきます。

集計の結果、教育出版 5 票、光文書院 4 票、日本文教出版 1 票となりましたので、「道徳」は「教育出版」を推薦多数により決定します。

これで、すべての審議は終了しました。

筒井会長、2 日間にわたり丁寧なご説明ならびに質疑応答、ありがとうございました。

以上を持ちまして、議案第 25 号「令和 6 年度使用の明石市立義務教育学校の教科用図書採択について」審議を終わります。

以上で本日の議事は全て終了となります。

以上をもちまして、第 16 回定例会を終了いたします。

(15 : 05 閉会)